

練馬区議会民主党・無所属クラブ

区政レポート

白石けい子 責任編集



会派連絡先
発行 練馬区議会
民主党・無所属クラブ
練馬区豊玉北6-12-1西
庁舎6階
Tel 03-3993-1111
(内7621~5)

【略歴】

練馬区貫井育ち、高松在住。昭和29年生。練馬二小・貫井中・都立第四商卒。保育士・社会福祉任用主事。NPO法人 ケアステーションぽかぽか設立者。現在、2期目。企画総務常任委員会、清掃リサイクル等特別委員会・議会運営委員会所属。家族 夫・子ども4人 犬・猫 1匹



こんな時代だからこそ、区民創意のまちづくりを心掛けよ！

▼平成24年第3回・4回定例議会一般質問より▲

「挨拶

未曾有の震災から、ほぼ一年が経過しようとしています。

復興は道半ばであり、被災者の方々の一日も早い生活再建とともに、震災を教訓として、近い将来に発生する可能性が高い、と言われる首都直下型地震に対する方全なる備えが必要です。

防災対策の強化や耐震化で十年以内に被害を六割減とする東京都の防災計画決定を受け、練馬区でも確実に減災効果を発揮する計画の見直しと、地域防災体制の強化に努めてまいります。

以上のような安全・安心確保とともに、多くの区民の願いである、待機児童の解消、介護施設の充実、地域医療の拡充等々にも全力で取り組んでまいります。

▼両親の別居・離婚後、子どもの利益が第一となるための支援は？▲

日本では、毎年約25万組の夫婦が離婚し、そのうち約16万組の夫婦には未成年の子どもがいると言われている。本年四月より、子どもの利益を優先するための改正法が施行され、特に、民法第766条に、父母が協議上の離婚をするとき、協議で定める「子の監護について必要な事項」として「父又は母と子との面会交流」と「子の監護に要する養育費の分担」が明記された。

【区の答弁】

離婚は一義的には夫婦間の問題で、他者が関わるべきではないという考え方が支配的であり、男女間の出来事として片づけられがちになるが、離婚後も両者が親であることにより、親でない子どもにとつて、健全な成長と将来に悪影響を与えていかないよう、子どもへの生活・教育に関わる関係行政機関の積極的な姿勢が求められている。子どもの権利や利益を第一にと見つめた現場での対策はどのようになっているのか。

年度当初に一定の調査票をもとに、保護者が記入した内容の範囲で子どもの家庭環境を把握している。近年、行事の情報提供や学校等での子どもと直接、面会をしようとするトラブルも多くなってきたことから、現場だ

けではなく、教育委員会等をはじめとした子ども関連施設においても、子ども一人ひとりの利益を第一に考えることを共通認識とし、関係機関と十分な連携を図り状況に応じて対応していく。

▼首都圏災害後、区内の生活・災害廃棄等の清掃事業体制の準備は？▲

清掃リサイクル等特別委員会で、災害廃棄物処理業務の状況を視察してきた（写真下）宮城県仙台市・石巻市・女川町では以前より、災害廃棄物も大分処理されており漁業に必要な製氷工場も側に建設されているなど、かなりの復興の様子を見ることができた。

首都直下型震災が懸念されているこの練馬区も東京二十三区清掃一部事務組合という広域事業のため、発災後に、区内の生活ごみやがれき処理が積極的に処理対応が行えるとは思えない。仙台市のような「自己完結型」で迅速に処理できるような計画が必要ではないか？

【区の答弁】

発災後直ちに、被害状況を把握し、清掃一部と連携

していられるよう計画策定を始めた。また、具体的に区においても東日本大震災の教訓を最大限活かして「がれき処理基本計画」の策定予定。特に、スピードが異



自己完結型廃棄物処理場にて

なるがれき処理の実態への十分検証していく必要がある。体制や流れ等をより具体的かつ現実的な計画となるよう環境部マニュアルを検討していく。

▼介護施設増設だけではなく、在宅介護を充実させていくための「介護・医療」連携をどのように支援・充実を考えていくのか？▲

今後の高齢者人口数や高齢化率を見据え、施設を利用しながらも在宅でも安心して暮らせる支援体制の構

築が求められている。

地域包括ケアシステム・在宅サービスの充実には、「介護・医療」の連携が重要。訪問看護サービス事業者への公的支援や医師会は区の積極的姿勢を求めている。また、地域の中に福祉施設設置を進めている事業者は「練馬区福祉まちづくり推進条例（バリアフリー法）」の負担が大となっている。このような状況をどのようにみるのか。

【区の答弁】

区の将来の高齢者人口、65歳以上の方はこれからも増加し、平成27年度には約十五万八千人、21%と推計。また、高齢者のみの世帯数も、今後5年毎に約九千世帯が増加していく見込みを推移し、高齢者対策に在宅療養は欠かせないと認識。医療と介護の情報共有を初め連携体制に向け、来年度、地域医療計画会議開催予定。事業者の施設設置のバリアフリー法については、丁寧な説明を心掛けていく。

▼認可保育園の休日保育や子育てスタート応援券をもっと区民が利用しやすいよう工夫せよ▲

杉並区等、他の自治体では、新たに利用内容を検証し、使いやすく工夫がされた。区も執行率の低さを検証し、対象年齢、サービス内容の拡大・充実を図る努力を。認可保育所の休日保育は、費用対効果を見つめ、休日利用したい一般家庭の乳幼児も利用できるような拡大を図ることが、本当の子育て支援ではないか。

【区の答弁】

休日保育所の開放は、認可保育園児の登録児のみであるが、子育てスタート応援券も含め、利用率が低いことは、認識している。今

「ペット同行避難」講演会のお知らせ

防災講演会を開催します。

日時 平成25年3月9日（土）

午後五時～七時

場所 練馬役所 地下二階

多目的会議室

参加者対象 練馬区民

参加費 無料

講師 石巻市あべ動物病院院長

阿部俊範獣医師

主催 練馬区議会

民主党・無所属クラブ

後は、他の自治体の動向を見つめ協議していく。

■後記■

昨年未の都知事選や衆議院議員選挙は、この年の暮れになぜ？ という声がある中、今後の日本を見つめる有権者の声を感じた選挙となった。投票率は、現憲法下でも最低となり、自民党圧勝の形となったが、他の政策・党の支援への期待数も垣間見え、自身も身のしまる思いです。これからも、コツコツとていねいな取り組み・姿勢で努力してまいりたいと思います。

その一つである、首都直下型地震への防災対策に向け、今三月に会派主催で、東日本大震災を経験し「ペットの同行避難」に尽力された獣医師の阿部氏を招き、区民と共に「ペット同行避難対策」を考えてみたいと講演会を開催します。ぜひ、多くの区民のご参加をお待ちしております。また、議会の公開性の一つとして、二月の定例会より、区役所一階のアトリウムのテレビにて同時中継を試行的に行います。

※一面写真 各種団体から予算要望書を区長に提出。（右から）土屋ひとし、浅沼敏幸、志村豊志郎練馬区長、白石けい子、石黒たつお、倉田れいか